



令和7年度「ぐんまふるさと納税」 寄附金活用結果のご報告

令和7年度は「ぐんまふるさと納税」に、10,001件 697,756,609円のご寄附をいただき、誠にありがとうございました。改めて心より感謝申し上げます。

お寄せいただいた寄附金につきましては、返礼品や経費等に充てるとともに各種施策に活用しており、寄附金のうち523,608,055円を皆様にお選びいただいた寄附メニューに活用させていただきましたので、ご報告いたします。

今後も、群馬県を更に輝かせ、2040年に目指す、「年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての県民が誰一人取り残されることなく、自らが思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」を実現させるため、積極的な取組を進めてまいります。引き続き、群馬県への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■令和7年度「ぐんまふるさと納税」寄附金活用状況一覧

(単位：円)

	寄附メニュー	事業充当額
1	湯けむりフォーラム	15,985,540
2	ぐんまちゃんのイベント出動支援	5,579,475
3	グローバル人材の育成	4,593,050
4	多文化共生・共創社会形成推進	2,133,450
5	子どもたちへの文化芸術体験事業	13,560,800
6	世界遺産等の保存活用	10,300,400
7	ぐんまのアート推進	1,354,100
8	スポーツ振興	5,912,785
9	こども・子育て支援	60,301,320
10	福祉の充実	12,300,200
11	ぐんま動物愛護推進	9,619,000
12	尾瀬の自然保護	19,753,580
13	ぐんま緑の県民基金（ぐんま緑の県民基金積立）	11,798,950
14	農産物生産振興	7,215,890
15	ヒルクライム開催支援	963,600
16	孺恋高校修学支援（県立高校修学支援）	1,428,350
17	高校生留学支援	1,324,765
18	県政一般	339,482,800

※ガバメントクラウドファンディング案件については、本報告の対象外とします。

※寄附金は寄附者の意向に沿った事業の財源に充当しておりますが、寄附金額が事業費を超える場合な

どは、意向に近い別事業に充当させていただいております。

《参考》年度別寄附申込状況（直近３年間）

（単位：件数＝件、金額＝円）

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
件 数	1,053	4,151	9,462
金 額	72,140,800	267,893,600	601,205,400



湯けむりフォーラム

事業充当額：15,985,540 円

【事業内容】

湯けむりフォーラムは各界の第一線で活躍される皆様とともに、現代社会が抱える課題や社会の未来について熱く議論し、そこから生まれたアイデアを、日本、そして世界へと発信していくプロジェクトです。

令和7年度は、草津温泉にて2日間、群馬県が力を入れて取り組むデジタル・クリエイティブ産業や温泉文化、パラスポーツなどのテーマについて、世界と群馬をつなぐ多彩な登壇者をお迎えして熱い議論を行いました。

当日セッションのアーカイブ配信動画は群馬県公式 YouTube チャンネルからご覧いただけます。

★県公式 YouTube チャンネル「湯けむりフォーラム」再生リスト

https://youtube.com/playlist?list=PLEw1MzzXR0q_CZ-G0qEYAqgxXSrf5cJCX&si=7n5XlvIjQivvNYyG

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、湯けむりフォーラム 2025 の開催費用やコンテンツ制作費に充てさせていただきました。

◎ 令和7年度に制作したコンテンツ例

○ スペシャルセッション 東宝 松岡宏泰社長×山本一太知事

日本を代表するエンターテインメント企業でかつ東宝の社長・松岡宏泰氏をお招きし、エンターテインメントの未来について、山本知事とのトークセッションをお送りします。

○ 特別講演 南カリフォルニア大学 リピット水田堯教授

「人々をつなぐ物語の世界ー世界が拓くクリエイティブの未来」をテーマに、「物語」が人々と社会にもたらす可能性について考えます。



「湯けむりフォーラム 2025」スペシャルセッション
東宝 松岡宏泰社長×山本一太知事



「湯けむりフォーラム 2025」特別講演
南カリフォルニア大学 リピット水田堯教授



ぐんまちゃんのイベント出動支援

事業充当額：5,579,475 円

【事業内容】

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」とぐんまちゃんキャラバン隊が、県内外で開催されるイベントへの参加や、SNS 発信等を通して、本県の PR を行っています。

さらに、県内の子どもが幼児期から郷土に愛着を育むことを目的として、ぐんまちゃんが県内幼稚園等を訪問し、園児と一緒にダンスやクイズを行いながら楽しい思い出を作る活動を実施しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、群馬のイメージアップ事業である「ぐんまちゃんキャラバン隊」の活動費に活用させていただきました。

2025 年度は集客型の自主イベントとして、「ご当地キャラカーニバル in ぐんま 2025」や「劇団ぐんまちゃん♪コンサート」、「ぐんまちゃんお誕生日会 2026」等を実施したほか、県内外各地に出動を行い、たくさんの方々とふれあいました。



ご当地キャラカーニバル in ぐんま 2025



ぐんまちゃんお誕生日会 2026



グローバル人材の育成

事業充当額：4,593,050 円

【事業内容】

群馬県では、世界に目を向け、自ら考え動き出す「グローバル始動人」の育成に取り組んでいます。

その一環として、県内の高校生や大学生などの若者向けに、さまざまな事業を実施しています。海外の文化や社会、国際的な課題に触れる機会を提供するとともに、海外の同世代の若者との交流や国際理解を深めるプログラムの実施など、世界をより身近に感じられる環境づくりを進めています。

こうした取組を通じて、将来、地域社会と世界をつなぐ架け橋として活躍するグローバル人材を育成しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、群馬県の友好交流先である米国インディアナ州へ県内高校生（8名）を派遣し、現地の学校や群馬県からの進出企業などを訪問しました。

また、派遣の前後を通じて研修を実施し、学びを深める機会を設けることで、派遣の効果を最大限に高めるとともに、グローバル始動人としての育成を図りました。

相互交流として、米国インディアナ州の大学生が群馬県を訪問した際には、県内の高校生や大学生との交流を通じて、群馬県の魅力や地域の特色について理解を深めてもらうプログラムを実施しました。



インディアナ州での高校生交流



インディアナ州大学生来県時の交流



多文化共生・共創社会形成推進

事業充当額：2,133,450 円

【事業内容】

「日本社会とのつながり」と「未来への意欲」を届けたい。外国にルーツを持つ高校生のキャリア形成を支援するため、認定 NPO 法人カタリバと連携し、群馬県内の企業で職業体験を行うインターンシップを実施します。

生徒たちは企業で働く人々との交流や実践的な体験を通じて、自らの将来について考え、進路の選択肢を広げる機会を得ることができます。お寄せいただいた寄附金を活用し、外国にルーツを持つ高校生一人ひとりのキャリアの可能性を広げていきます。

【寄附金の活用結果】

お寄せいただいた寄附金を活用し、外国にルーツをもつ高校生を対象としたインターンシップを実施いたしました。事前準備では群馬県内の地域や企業について理解を深め、生徒たちは本番に向けて意欲を高めることができました。当日は、製造業、観光業、金融業、介護・福祉分野などの企業 5 社に協力いただき、県内 7 校から計 33 名の生徒が参加しました。生徒たちは、企業の担当者との交流や、職業体験を通じて働くことの意義や将来のキャリアについて学びました。その後の報告会では、生徒それぞれが得た学びや気づきを自分の言葉で発表。その姿からは、将来への視野やキャリアの可能性が大きく広がった様子がうかがえました。



Roots インターン当日の様子



Roots インターン活動報告会



子どもたちへの文化芸術体験事業

事業充当額：13,560,800 円

【事業内容】

群馬交響楽団は、定期演奏会や小中高生への移動音楽教室などの演奏会で県民の皆様に生の音楽を提供することを通じて、音楽の素晴らしさを実感してもらうため、活動を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、子どもたちを対象にした夏休みコンサートを昨年度に引き続き2公演開催しました。

ディズニー映画「リトル・マーメイド」の「アンダー・ザ・シー」や、子どもも楽しむことができるオペラの有名曲などを演奏し、家族連れをはじめとする幅広い層のお客様にご来場いただきました。



2025 群響夏休みコンサートの様子



世界遺産等の保存活用

事業充当額：10,300,400 円

【事業内容】

群馬県では、江戸時代中頃から養蚕・製糸・絹織物などの絹産業が盛んでした。県内には現在でも、絹産業の歴史や文化を伝える絹遺産が多く残されています。世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」をはじめとするぐんま絹遺産を未来に継承していくため、保存管理や周辺環境の整備、普及啓発活動などに取り組んでいます。また、地域全体で絹に関する遺産や文化を守り、その活用による地域づくりを推進するとともに、県民の皆様が地域の価値を再認識するための活動を支援しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、世界遺産構成 4 資産（富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴）の保存修理・整備工事をはじめ、ぐんま絹遺産に係る修復事業や周辺環境の整備、普及啓発事業等に活用させていただきました。



富岡製糸場煙突保存修理
(画像提供：富岡市)



荒船風穴ウォーク
(画像提供：下仁田町)



ぐんまのアート推進

事業充当額：1,354,100 円

【事業内容】

群馬県では県予算の一定割合をアート振興施策に充てる全国初の条例、「群馬パーセントフォーアート」推進条例を制定しています（令和 5 年 4 月 1 日施行）。お寄せいただいた寄附金は、アートを活用した地域活性化事業や、多くの方にアートを身近に感じていただくための、アート作品の展示・ワークショップなどに活用させていただきます。

【寄附金の活用結果】

官民共創による「群馬モデル」の形成を目指して、群馬県を代表する企業である SUBARU と現代アートを融合させたプロジェクトを実施しました。

アーティストが太田市内で、SUBARU で働く方や工場周辺に暮らす方々などを取材・調査し、SUBARU をイメージしたアート作品を展示しました。

太田市立史跡金山城跡ガイダンス施設での展示に続き、令和 7 年度は太田市美術館・図書館や中之条ビエンナーレでも展示し、多くの方にアートを身近に感じていただく機会を創出しました。

西田 誠貴

「命を守る音色：SUBARU の安全サウンドワークショップ」



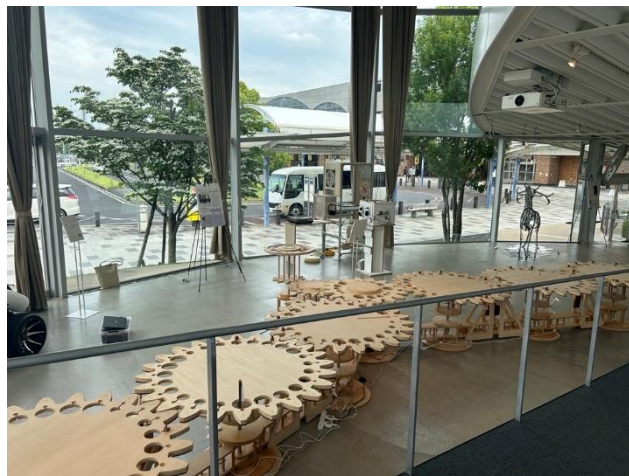
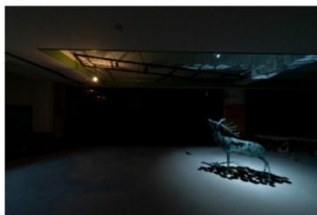
つちやあゆみ 「雷車のオルゴール」



野口 桃江 「QUENELLE ― 感覚つながらる小型 EV」



西島 雄志 「神使 shin-shi 一空」 「囃 kan」



中之条ビエンナーレ 2025 イサマムラ作品

太田市美術館・図書館展示



スポーツ振興

事業充当額：5,912,785 円

【事業内容】

○ぐんまのアスリート支援

将来のトップアスリートの発掘・育成を目的に、令和3年度から「ぐんまプレキッズ」を行っています。県内の小学3年生・4年生の中から、運動能力の高い児童約230名を選考し、1年間継続して、基礎的な身体能力向上トレーニングを実施しています。

○ぐんま県境稜線トレイル活用促進

ぐんま県境稜線トレイルは、群馬と新潟、長野の県境稜線100kmを主要ルートとしたロングトレイルです。周辺には温泉や歴史遺産などの観光スポットも豊富であり、トレイルと周辺の登山道を組み合わせることで、初心者から上級者まで幅広い年齢・レベルの方が山歩きを楽しめます。

○ぐんまマラソン開催支援

「ぐんまマラソン」は毎年11月3日の文化の日に、正田醤油スタジアム群馬をメイン会場として、前橋・高崎市内のコースを走ります。「走る・支える・応援する」をテーマに、誰もが楽しみ、「自然・食・歴史文化・温泉」といった群馬の魅力を味わえる大会準備に活用します。

○ぐんまのプロスポーツを応援

ザスパ群馬、群馬ダイヤモンドペガサス、群馬クレインサンダーズ、群馬グリーンウイングスの4つのプロスポーツチーム及び他スポーツチームと連携し、子どもを対象とした「スポーツ教室」の実施や、「パブリックビューイング」の実施等による広報・普及活動等に活用させていただきます。

○パラスポーツ振興

世界で戦えるパラアスリートの育成・強化を目的とする「ぐんまパラアスリート始動プロジェクト」では「ぐんま強化指定パラアスリート」を選定し、競技活動費の補助を実施します。

【寄附金の活用結果】

○ぐんまのアスリート支援

寄附金を活用し、必要な用具を揃えられたことで、十分なトレーニングを実施することができました。子どもたちは、年間18回の練習に一生懸命に取り組み、1年後の体力測定では、自身の記録を大きく更新しました。

○ぐんま県境稜線トレイル活用促進

令和元年度に新設したムジナ平避難小屋の修繕や、登山者が遭難等により救助要請する際に正しく自分の位置を伝えるための「位置ナンバープレート」の作成、新規開通区間である「三坂峠～白砂山」までの登山道刈払事業に活用させていただきました。

○ぐんまマラソン開催支援

参加する選手に配布する大会プログラムやTシャツなどの「参加賞」のほか、給水所や給食所で提供する水等の資材、円滑な競技運営のために必要不可欠なコース整備、またボランティアの方々に対するビブス等の支給に活用させていただきました。

○ぐんまのプロスポーツを応援

県内の小・中学校等にプロスポーツチームの選手を派遣し、講師として指導を行う「スポーツ教室」を実施しました。また、アウェイ戦を応援するため、群馬県庁、商業施設等で「パブリックビューイング」を実施しました。

○パラスポーツ振興

「ぐんまパラアスリート始動プロジェクト」補助金として、パラアスリートへの活動費支援に活用させていただきました。多くの選手が世界の舞台へ羽ばたき、活躍することができました。



ぐんまプレキッズ



ぐんまマラソン



こども・子育て支援

事業充当額：60,301,320 円

【事業内容】

群馬県では、多子世帯の経済的負担を軽減するため、保育所・認定こども園等を利用する第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化している市町村に対し、その財源を補助する事業を行っています。また、先天性疾患を早期に発見して治療につなげるため、先天性代謝異常等検査を公費負担の対象とし、全ての妊婦が安心して出産できる環境を整備しています。さらに、毎年11月を中心に児童虐待防止を啓発する『オレンジリボンキャンペーン』を実施するほか、様々な理由により高校を中退したこどもや、中学を卒業したものの進路が決まっていないこどもが、再学習や就労など社会的自立に向けた新たな一歩を踏み出せるよう、支援を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、こどもを3人以上扶養する家庭に対する保育料支援制度の財源の一部として活用させていただきました。また、先天性代謝異常等検査について、公費負担の対象疾患を拡大し、30疾患を対象とすることができました。さらに、『オレンジリボンキャンペーン』での広報啓発活動や、高校中退者や進路未定の中学校卒業者等一人ひとりの状況に応じた支援の財源の一部に活用させていただきました。



保育所での保育の様子



『オレンジリボンキャンペーン』
広報啓発活動の様子



「学校を離れてしまった子ども
・保護者向けパンフレット」



福祉の充実

事業充当額：12,300,200 円

【事業内容 1】

少子化が進む中、子どもを育てやすい環境づくりが求められています。

群馬県では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、県内どこに住んでいても、子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう、市町村と協力し、高校生世代までの子どもの医療費の助成を行っています。

入院・通院ともに高校生世代までを対象とする本県の助成制度は、所得制限や受診時における窓口での自己負担のない手厚い制度です。

【寄附金の活用結果 1】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、子ども医療費助成事業の財源の一部として活用させていただきました。



小児科を受診する子ども

【事業内容 2】

近年、芸術文化活動を通じて障害のある人の自立と社会参加を促す取組が注目を集めています。群馬県では、障害のある人の芸術文化活動の拠点となる「群馬県障害者芸術文化活動支援センター『こ・ふぁん』」を運営し、様々な相談への対応のほか、福祉事業所職員等を対象とした研修会、障害のある人のアート展の開催などに取り組みます。

【寄附金の活用結果 2】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、ペイントワークショップや展示会の開催など障害のある人が芸術文化に触れる機会を生み出す事業に活用させていただきました。



全身で絵を描く「ペイントワークショップ」



障害者アートイベント「DELICATO/2025展」



ぐんま動物愛護推進

事業充当額：9,619,000 円

【事業内容】

群馬県では、人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けた動物愛護の推進に関する様々な取組を実施しています。

その1つとして、飼い主のいない猫対策支援事業では、殺処分減少を目的に地域での飼い主のいない猫への繁殖防止と環境保全活動（いわゆる「地域猫活動」）の支援を県獣医師会や動物愛護団体と協力して行っています。

また、犬猫の譲渡事業にも力を入れており、動物愛護団体と協力・連携してより一層の譲渡につながるよう取り組んでいます。県動物愛護センターで譲渡を待つ間、病気・ケガの治療や疾病予防対策などの健康管理を行うなど、譲渡希望者が安心して犬や猫の譲渡を受けられる環境づくりに努めています。

【寄附金の活用結果】

飼い主のいない猫対策支援事業では、皆様からお寄せいただいた寄附金を活用して、令和7年度は新たに2地域が活動を開始することができ、また79匹に不妊去勢手術を実施することができました。

また、犬猫の譲渡事業では県動物愛護センターでの病気・ケガの治療や健康管理に必要なワクチン、寄生虫駆除薬等の動物用医薬品のほかペット用品の購入、休日の犬猫への給餌給水のお世話等に活用させていただき、保護収容した犬猫225匹を、新しい飼い主へ譲渡することができました。

そのほか、これまでいただいた寄附金をもとに、老朽化が進んでいた動物運搬車3台を空調付きのものに更新することができました。



職員とお散歩している犬



譲渡希望者とお見合いしている犬



尾瀬の自然保護

事業充当額：19,753,580 円

【事業内容】

美しい景観と貴重な生態系が保たれている尾瀬国立公園には、毎年多くの登山者が訪れます。尾瀬の自然環境を保全し、利用者の安全を確保するため、群馬県では関係者と連携して木道や登山道の整備・維持管理を行っています。

また、ニホンジカの増加や生息域の拡大により、高山植物の食害や湿原の踏み荒らしなど生態系への影響が深刻化していることから、大規模な植生保護柵の設置・維持管理を進め、希少な植生や生態系の保護に取り組んでいます。

さらに、日本百名山の一つである至仏山では、登山利用による植生荒廃や裸地化が課題となっているため、登山道の適切な管理や植生回復を進め、貴重な自然環境の保全に努めています。

【寄附金の活用結果】

尾瀬における工事は、ヘリコプターによる資材運搬や、多雪による施設の損傷に対する補修など、山岳地特有の条件から多くの経費を要します。皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、県管理木道の補修・整備を実施することで、尾瀬を訪れる皆様が安全に利用できる環境の確保に努めました。

さらに、ニホンジカによる食害から希少な植生を守るための保護柵の設置を進めるとともに、至仏山では植生荒廃の防止対策として登山道の補修を実施しました。これらの取組により、尾瀬の貴重な自然環境の保全と適正利用の推進を図ることができました。



木道の再整備



植生保護柵の設置



ぐんま緑の県民基金(ぐんま緑の県民基金積立)

事業充当額：11,798,950 円

【事業内容】

県土面積の3分の2を占める群馬県の森林は、豊かな水を育み、災害を防止するなど私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす県民共有の財産です。

しかし、適正に管理が行われずに放置された森林は、これらの機能を十分に発揮できず、土砂災害発生などの危険性が高まります。

群馬県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、目標である「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」と「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」の実現に向けて、ぐんま緑の県民基金事業による様々な施策に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

ぐんま緑の県民基金事業では、皆様から頂戴した寄附金を活用し、災害に強い森林づくりのため、経営が成り立たず放置されていた奥山の森林等の整備を実施しました。

また、ボランティア団体等による里山・平地林の整備により、野生獣類の出没抑制や道路沿いの森林整備による通行の安全確保など、安全・安心な生活環境の改善に向けた取組や、児童生徒などを対象とした森林環境教育の推進、貴重な動植物の生息域を保護する活動も実施しました。



整備された森林の様子



森林環境教育の様子



農産物生産振興

事業充当額：7,215,890 円

【事業内容】

群馬県では、標高差のある地理的特性を生かし、キャベツやキュウリ、コンニャク、ウメをはじめ、多様な農産物が生産されています。また、イチゴやリンゴ、ナシなどの観光農園も数多く、特色ある農業が展開されています。一方で、近年は地球温暖化に伴う気候変動の影響により、生産現場では高温や異常気象への対応が大きな課題となっています。そのため、安定生産を可能とする新品種の育成や栽培技術の開発が強く求められています。群馬県農業技術センターでは、試験研究を通じて、将来にわたり持続可能な群馬県農業の発展に貢献する品種の育成や新技術の開発に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、群馬県農業のさらなる発展に向けた農業技術の研究開発に活用させていただきました。これまでに、リンゴ「紅鶴」をはじめとする群馬県オリジナル品種を育成しており、寄附金を活用して育成品種の生育向上技術や省力的で高品質な栽培技術の開発を進め、着実に研究成果を上げることができました。これらの研究成果は、講習会や研修会などを通じて生産現場への普及を図り、群馬県農業のさらなる発展に貢献しています。



群馬県育成リンゴ品種「紅鶴」



コンニャクの栽培風景



ヒルクライム開催支援事業

事業充当額：963,600 円

【事業内容】

群馬県内で開催される「榛名山ヒルクライム」及び「まえばし赤城山ヒルクライム」は県内外から多くのサイクリストが参加する県内最大級の自転車イベントです。

一般道を利用したイベントであることから、適切な道路環境整備を行うことが重要です。

【寄附金の活用結果】

令和7年度は、「榛名山ヒルクライム」「まえばし赤城山ヒルクライム」の両イベントとも開催されました。

開催にあたり、両イベントのコースとして使用されている道路の除草費用に活用させていただきました。



まえばし赤城山ヒルクライム開催状況



道路の除草状況（渋川松井田線）



嬭恋高校修学支援(県立高校修学支援)

事業充当額：1,428,350 円

【事業内容】

嬭恋高校は、これまでに2人のメダリストを含む6人のオリンピックスケート選手を輩出するなど、スピードスケートの強豪校として全国で広く知られ、スキー競技・スケート競技で全国高校総体等の全国大会でも活躍しています。また、尾瀬高校は生徒の活動が地域に活力を与えており、全国で唯一の「自然環境科」は、「自然環境・探究活動」を柱とした取組を実践しています。

両校ともに、群馬から世界に羽ばたく人材を育成するため、県内外から生徒を受け入れています。

【寄附金の活用結果】

お寄せいただいた寄附金は、群馬から世界に羽ばたく人材を育成するため、県内外から集まった有望な生徒が、下宿やホームステイをする際の修学支援として有意義に活用させていただきました。



スケート競技（嬭恋高校）



ふれあい交流会（尾瀬高校）



高校生留学支援

事業充当額：1,324,765 円

【事業内容・寄附金の活用結果】

産学官により構成される運営協議会が主体となって、群馬県の高校生等の探究を伴う留学を支援することで、「自分で未来を考え、新しい領域で動き出し、生き抜く力」を醸成し、群馬県にイノベーションを起こすことができる「エージェンシー（※）」を発揮したグローバル人材の育成を目指します。世界に学び、群馬の未来を切り開く人材育成を目指す事業です。

※ エージェンシー：自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力。「第4期群馬県教育振興基本計画」（2024年3月策定）の中で定義。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金については、「群馬県グローバル人材育成基金」で積立て及び次年度への繰越しを可能にしていくことにより、令和8年7月から派遣予定の高校生の留学に必要な費用の一部として活用させていただく予定です。

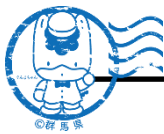
※ 「群馬県グローバル人材育成基金」：産・学・官が連携したグローバル人材の育成に向けて、高校生等へ支給する留学費用に活用するため、令和7年10月に制定された「群馬県グローバル人材育成基金条例」をもって創設。



生徒・保護者説明会(令和7年12月)



企業への感謝状贈呈式（令和8年3月25日）



県政一般

事業充当額：339,482,800 円

【事業内容・寄附金の活用結果】

今後も群馬県を更に輝かせ、2040 年に目指す、「年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての県民が誰一人取り残されることなく、自らが思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」を実現させるため、積極的な取組を進めてまいりますので、引き続き、群馬県に対して温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ビジョンが目指す

2040年の群馬県の姿

ビジョンは、2040年までの群馬県を取り巻くさまざまな環境の変化を見通した上で、県民の幸福度の向上に向けた「目指す姿」と「実現へのロードマップ」をバックキャスト思考で描いたものです。

● 目指す姿

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、
すべての県民が、誰一人取り残されることなく、
自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会

● 計画期間

2021年～2040年(20年間) ※計画期間中も、常に時代の大きな変化を読み取り柔軟に対応する。

